

会 議 記 録

会議名	市民説明会 高松市地域公共交通再編実施計画（案） ことடன்新駅（三条～太田駅間）基本計画（案） ことடன்新駅（太田～仏生山駅間）基本構想（案）
日 時	平成 28 年 2 月 19 日（金） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 10 分
場 所	高松市民防災センター 3 階大ホール
傍聴者	25 名
出席者	事務局：高松市 ○福田市民政策局参事（コンパクト・エコシティ推進部長） ○板東交通政策課長 ○飛弾交通政策課長補佐 ○佐藤交通政策課係長 ○伊賀主査 ○宮武主査 （オブザーバー 高松琴平電気鉄道㈱ 川上専務）
概 要	(1) 開会 (2) 参事あいさつ (3) 資料説明 高松市地域公共交通再編実施計画（案）ほか 2 計画について (4) 質疑応答 下記のとおり
質疑応答	【 3 計画に関する質疑応答】
市民①	新駅（三条～太田駅間）には、バスターミナルなど駅前広場を整備する計画であるが、その整備の見込みと、レインボー循環バスなどの既存のバス停を統合する考えはあるのか。
事務局	土地所有者には御理解いただけるよう説明・交渉していきたい。 また、バス停の統合などは現在のところ決まっていないが、バス事業者とも連携し、今後、検討していきたい。
市民②	新駅（三条～太田駅間）基本計画に事業費の記載があるが、駅前広場の用地費も含まれているのか。 また、新たに 2 つの駅を整備した場合、琴平線のダイヤに影響はないのか。
事務局	用地費を始め、建物補償費等もこの事業費の中に含まれている。 駅の整備と複線化事業をセットで行うことにより、運行時間が 1 ～ 2 分程度増加する見込みであるが、運行間隔等、概ね今のサービス水準を維持するものである。
市民③	新駅と複線化事業について、供用開始の考え方を教えてほしい。 また、駅前広場に公共的な施設等を合わせて整備してはどうか。
事務局	駅だけを供用した場合、ダイヤに影響が出るため、駅と複線化の両方が完成した

	段階で供用開始と考えている。 土地の有効活用の観点から、駅前広場の立体的な活用による公共施設や商業施設等の立地の可能性についても、今後検討したい。
市民④	新駅（三条～太田駅間）の駅舎整備について、西側（葬祭場の）建物にも影響があると思うがいかがか。 また、駅舎に中2階を整備し移動をスムーズにしてはどうか。 新駅（太田～仏生山駅間）の整備について、桜井高校への通学も考慮し安全性の確保と自転車・バスなどとの乗り継ぎを便利にしてもらいたい。
事務局	葬祭場（ベルコ）の御協力により、建物については駅舎整備に影響のないように建築されている。 中2階の整備については、今後行う実施設計の中で、総合的に考えたい。 新駅（太田～仏生山駅間）へのアクセスは、駅が平面駅であるため高架となる県道の側道を使っていただくこととなるが、駅へのアクセス等は安全性を確保してまいりたい。 バスについても充実させたいと考えている。
市民⑤	新駅（三条～太田駅間）には、送迎用駐車場を2台計画しているが足りないのではないか。
事務局	今後、実施計画を行う中で可能な限り、多く配置したいと考えているが、あくまでも短時間駐車のための送迎用駐車場であり、駅前広場に長時間駐車に対応する駐車場を整備することは考えていない。
市民⑥	利便性が上がる計画であり歓迎している。 複線化により現状のダイヤを確保する以上に、増便など、何か考えはないのか。 バスの再編については具体的にどう考えているのか。
事務局	バス路線の再編については、人口減少社会となり、今のままでは利用の少ない路線については廃線が危惧される。基幹路線として維持するもの、フィーダー化するもの、それぞれに検討していくが、電車との乗り継ぎや料金体系など利用者へのサービス水準を担保しつつトータルで考える必要がある。また、郊外部や公共交通の空白地域においては地域が主体となり、コミュニティバスについても検討する必要があるなど、課題も多い。
ことடன்	複線化事業のメリットについて、琴平線では朝の通勤時間帯に7分半間隔で運行しているが、複線化せず駅整備をした場合、10分間隔となり、また、築港～琴平間が60分から80分になる。事業者としては利用者の利便性を担保しつつ、利用が伸びるようであれば、運行頻度を上げるなどサービスの向上に努めたい。 また、バスについては、1便当たりの利用者が5人を下回ると存続が厳しくなる

	ため、新駅を利用し持続可能なものにする必要がある。
市民⑦	駅舎整備にことでんが経費負担しないのはなぜか。
事務局	綾川駅整備においても同じ枠組みである。 市としては、鉄道駅については、道路などと同じ重要な社会インフラの一つと考えており、こうした枠組みとしている。維持管理に係る経費については、事業者をお願いしたいと考えている。
市民⑧	新駅（太田～仏生山駅間）の基本構想に「新交通システムの検討」とあるが、どこからどこまでの間を考えているのか。
事務局	新交通システムには、L R TやB R Tなど多様であり、道路管理者を始めとする関係機関と連携し、社会実験などについて検討する必要がある。 まずは、路線バスからの段階的な話であると思うが、地域の皆様には公共交通を利用してもらいたい。
市民⑨	地元住民としては、新駅（三条～太田駅間）及び駅前広場整備後の治安の悪化を心配している。昨年のパブリックコメント（基本構想）にもあったが、交番の設置も検討してもらいたい。
事務局	県警とも、引き続き継続して協議したい。 パブリックコメント実施（2/22～3/11）の旨、説明